

NEWS RELEASE

2008年8月18日

平成20年度第1四半期決算のお知らせ

ハートフォード生命保険株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：デイビッド N. レベンソン、以下「ハートフォード生命」）の平成20年度第1四半期（平成20年4月1日～平成20年6月30日）決算についてお知らせいたします。

【収入保険料】

当期中の個人保険および個人年金保険の総収入保険料は1,064億円となりました。そのうち、個人年金保険の収入保険料は1,063億円で、その内訳として、変額個人年金保険の収入保険料は905億円、積立利率変動型個人年金保険は158億円となっています。

【保有契約件数、保有契約高】

当期中の保有契約件数は、前年度末の55万6千件から2.2%増の56万9千件に伸展しました。また、保有契約高は、前年度末の3兆8,568億円から1.8%増の3兆9,262億円となりました。

【特別勘定資産残高】

当期末における特別勘定資産残高は、前年度末の3兆6,519億円から4.1%増の3兆8,001億円となっています。

【収支状況】

当期末における基礎利益は37億2,038万円となり、経常利益は20億5,265万円、四半期純利益は15億9,864万円と引き続き黒字となっています。

【その他の情報】

- リタイアメント・ソリューション企業としての事業展開 — 本年4月、これまでの個人年金保険に特化した企業から、セカンドライフの資産設計に関するソリューションを包括的に提供するリタイアメント・ソリューション企業へと事業展開する新戦略を策定しました。
- 新ビジネスライン — 本年5月、投資信託販売業務の認可を取得しました。投資信託販売参入により商品ポートフォリオのさらなる拡充を図り、多様化するお客様のニーズに対応していきます。
- 新商品 — 本年6月、新たに変額終身保険「フォーライフ ステップアップ」の販売を開始しました。本商品は、運用成果に応じて、死亡保障の最低保証額が最大で基本保険金額の150%まで増加する「ステップアップ死亡保障」機能を有し、相続ニーズに対応するとともにインフレによる保険金の目減りに対応する商品です。
- 販売会社 — 当期中、販売会社は新たに1社が加わり合計で78社となりました。変額個人年金保険を販売している会社は76社、定額個人年金保険を販売している会社は26社、変額終身保険を販売している会社は1社となっています。

ハートフォード生命代表取締役社長のデイビッド N. レベンソンは、次のように述べています。「世界的な株式市場の低迷や変額個人年金市場における競争激化等、厳しい市場環境が続く中、当期末の保有契約件数は56万9千件を達成しました。また特別勘定資産残高は、前年度末比4.1%増の3兆8千億円となりました。当期中、変額終身保険『フォーライフ ステップアップ』を発売し、商品ラインアップを拡大しました。今後当社は、『セカンドライフの達人』として、退職者層向けの商品開発、教育啓蒙、ブランディング等に総合的に取り組み、引き続き革新的なサービス提供を目指してまいります」

以上

本リリースには、米国1995年私募証券訴訟改正法(Private Securities Litigation Reform Act of 1995)において定義されている将来の見通しに関する情報が含まれています。投資家の皆様にはこのような将来の見通しに関する情報が、当社の将来の業績を保証するものではなく、また実際の業績は大きく異なる可能性があることをご理解願います。また投資家の皆様におかれましては、当該リスクおよび不確定要素は将来の当社業績に影響を及ぼす可能性があることをご理解いただきたいと思います。このような重要なリスクおよび不確定要素には、米国証券取引法により報告が義務付けられている四半期の報告書(10-Q)や2007年の年次報告書(10-K)に記載されている項目が含まれます。また、当社では、本リリース発表後にその内容を更新する義務を負いません。